

南島原市社協だより

ひまわり

第22号 平成23年3月14日

南島原市社会福祉協議会

〒859-2121

長崎県南島原市有家町石田8番地46

TEL 0957-65-2888 FAX 0957-82-0813

IP電話 050-3536-2011

メールアドレス msshakyo@minashimashakyo.or.jp

加津佐支所..... 050-3536-2012

口之津支所..... 050-3536-2014

北有家支所(南有家支所) 050-3536-2015

西有家支所..... 050-3536-2016

有家支所..... 050-3536-2018

有津支所..... 0957-72-5833

深江支所..... 050-3536-2019

第7回 全国小学生のぼうさい探検隊マップコンクール佳作入選

深江小学校6年生の児童6名(西田雅さん、吉岡佑規さん、上田明日香さん、森野玲菜さん、濱本理沙さん、谷口穂花さん)の防災マップが、(社団)日本損害保険協会並びに朝日新聞社ユネスコ日本災害救援ボランティアネットワーク主催の「第7回全国小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で「佳作」に入選しました。夏休み期間中に「わがまち探検防災活動in深江」を開催し、深江小学校の5・6年生23名の児童が3グループに分かれ、校区内の消防設備や普賢岳災害のことなどを調べ、防災マップ作りに取り組みました。全国から317校・1,607作品の応募があり、その中で『地域を詳しく調べた内容が丁寧にマップに反映された教育効果の高い作品』と評価されて入選となりました。



2月25日(金)、白木野小学校で原城わかば会主催による「食育教室」が開催されました。白木野小学校3・4年生の児童と、同地区の介護予防自主グループ「原河仲よし会」の総勢21名の参加者が、4子ども達は慣れない包丁さばきに、ドキドキしながらも地元食材たっぷりの団子汁の出来栄えに大変満足していました。試食した後は、「生活のリズム 朝ご飯」についてのお話があり、朝ご飯の大切さを学ぶ事が出来ました。最後は、地区の老人会の皆さんと小学生と一緒にレクリエーションして交流を深めました。



こころを育てる食育

1月16日(土)市民後見人の会ながさきの主催で、有家コレッジヨホールを会場に、「市民後見サポーターミニ出前講座」が開かれました。認知症や知的障がいなどで判断能力に支障がある人を支える制度として、成年後見制度や、地域福祉権利擁護事業の説明がありました。このほか、主催者から、活動状況や後見制度の必要性について話しや地域包括支援センターから、認知症高齢者への経済的虐待について、寸劇が行われました。まだ、なじみが薄い制度ですが、個人の権利と財産を守る大切な制度である事がわかりました。



古い支度 元気なうちに

その後、第1分科会では、長与小学校の村上教諭が「誰もが幸せに暮らせるまち」に取組んだ事例を発表され、第2分科会では、南島原市社会福祉協議会の氏原専門員が、「ふれあい学習事業」の事例を発表しました。様々な立場から意見が出され福祉教育の在り方の課題と方向性を共有することができました。

※第2分科会の様子



カルタで広がる笑顔の輪

社会福祉協議会西有家支所では、2月26日(土)西有家老人センターにおいて毎年恒例になっています「第10回西有家福祉かるた取り大会」を開催致しました。民生委員の方々による協力のもと、町内5地区の小学校から小学生や、老人クラブの方々など約90名余りの参加がありました。競技は、白熱した中にも、高齢者や子どもたちからあがる笑いの絶えない楽しい大会となりました。ルールは簡単です。来年の第11回大会もお気軽にご参加ください。お待ちしております。



福祉教育を考える

1月18日(火)有家コレッジヨホールで「平成22年度長崎県福祉教育セミナー」が開催されました。県内から、教育・福祉関係者、約70名の参加がありました。最初に日本福祉大学の原田正樹准教授が「共に生きる力を培う福祉教育の在り方」という演題で基調講演が行われました。今までの福祉教育は、「お年寄りは大変」「障がい者はかわいそう」という負のイメージを子ども達に与えてしまっていないか? という点です。福祉教育をとおして、共生的人間観を確立することの大切さを示されました。

平成22年度 福祉体験実績報告

当協議会では、福祉体験の依頼があった小・中・高校に担当職員やボランティア等を派遣しました。

内容は以下のとおりです。

○高齢者疑似体験（依頼校 11校）

- ①体験を通して個別性のある高齢者を知る。
- ②高齢者の事を自分の身になって考える。
- ③高齢者に対する自分の対応について考える。



○車いす体験（依頼校 6校）

- ①車いすの正しい使い方（車いす各部の名称等）
- ②車いすに実際乗って移動する時の不便さを体験し、より快適な生活を送る方法を考える。
- ③介助者は、どんなことに配慮すればいいのかを考える。

○その他（依頼校 4校）

アイマスク体験・視覚障がい者の日常生活講話・手話教室など

※学校のみならず、一般団体等からも相談に応じますので、地域福祉課までご連絡ください。（☎050-3536-2011）

ご存知ですか？

ふれあいサロン・社協行事傷害補償

加入できる方

ふれあいサロンや社協行事参加者・ボランティア（但し社協に登録が必要です。）

※サロンとは介護予防自主グループのことです。

掛 金

掛金	Aプラン	Bプラン
1名・1日あたり	13円	27円

※掛金により補償額が異なります。

例) 年間12日開催×13円(Aプラン) = 156円

補 償 内 容

- ・活動場所と自宅の往復途中の事故
- ・行事でお弁当が配布され、食中毒になり通院した
- ・熱中症(日射病や熱射病)など

※詳しくは南島原市社会福祉協議会本所または、各支所へご相談ください。

ひとりで悩まず相談しましょう 相談無料・秘密厳守

4月・5月の心配ごと相談日

※変更がある場合もございますので、必ずご連絡ください。

町 名	4 月	5 月	場 所	時 間
加津佐	11・20日	10・20日	加津佐総合福祉センター 相談室	10:00~12:00
口之津	7・21日	6・19日	口之津老人福祉センター 相談室	10:00~12:00
南有馬	6・20日	6・18日	原城オアシスセンター 2階 情報交換室	10:00~12:00
北有馬	8・22日	13・27日	北有馬老人福祉センター 2階 生活相談室	10:00~12:00
西有家	6・20日	11・18日	西有家老人福祉センター 2階	10:00~12:00
有 家	11・25日	9・23日	堂崎公民館(第2週目) ありえコレジヨホール(第4週目)	10:00~12:00
布 津	13・27日	11・25日	布津保健福祉センター湯楽里 2階 会議室	10:00~12:00
深 江	6・20日	6・18日	深江ふれあいの家 会議室	10:00~12:00

寄 付

皆様から寄せられました寄付金は、各種福祉事業や地域福祉活動の推進のために活用させていただきます。

平成22年12月1日~平成23年1月31日までの受付

《布津支所》	《有家支所》	《西有家支所》	《北有馬支所》	《南有馬支所》	《口之津支所》	《加津佐支所》
宮崎久美子様	本庄様	五島スヤ様	馬場幾太郎様	平松あきえ様	鳥居子様	立石三夫様
有村俊男様	佐藤隆吉様	小松一紀様	川口昭稔様	植松啓郎様	立石三夫様	荒木健夫様
吉田英則様	中藤晃一様	松本貞彦様	宮崎昭一様	山本栄治様	立石三夫様	末續守守様
《三大飯野》	《長田》	《古上切保》	《西ノ浦》	《真加美》	《久木山》	《道本路境》
松崎野	田田	田田	田田	米美	原	原
亡	亡	亡	亡	亡	亡	亡
夫	父	母	妻	夫	夫	夫
義信廣	義正	清恵	アキ	フミサユ	研	元
秀義香	弘行	つ人	エ	エ	治	彦
様	様	様	様	様	様	様

※社協だより第21号の中で次のように誤りがありましたので、訂正しお詫びいたします。

(誤) 浜邊 徳子 様 (向小屋・亡夫 弥喜十 様) → (正) 濱邊 徳子 様 (向小屋・亡夫 邦好 様)

(誤) 小田ミヤヲ 様 (南・亡夫 邦好 様) → (正) 小田ミヤヲ 様 (南・亡夫 弥喜十 様)

この広報紙は、皆さまから寄せられた共同募金、寄付金などで作成しています。